

洲本市議会だより

みんなのぎかい

2021.11.15 Vol.61

特集 事務事業評価

公募写真 第6号

写真タイトル:斜光 撮影者:竹田 直孝さん 撮影場所:アルチザンスクエア

市長に提出

公共交通支援事業

[企画情報部 企画課]

決算額 8,287万6,000円

事業内容 移動手段である路線バスの運行をバス事業者が安定的に行えるよう、運行費の補助を行う。

Q 由良線は補助対象路線となっていないが、収益はあるのか。

A 以前、由良線については黒字路線であったと聞いているが、現状は赤字路線になっている。いずれは、由良線に対する支援も求められるのではないかと考えている。

Q 令和2年度の補助路線の利用人数は。

A 縦貫線(洲本バスセンター～津名港)は10万83人。鳥飼線は1万1,424人。都志線(都志発着)は8,413人。都志線(湊発着)は6,765人。長田線は1万6,644人。鮎原線は5,474人。

評価 **C** (おおむね適正)

提言

暮らしに欠かせない交通インフラとしてのニーズは高い。一方で、路線縮小や便数の減少により利用者の利便性の悪化が懸念される。採算性確保の取り組み、有効なコスト削減の検討が必要。



9月定例市議会は決算議会です。3月に審議される予算が収入支出の見積もりであるのに対し、9月に提案される決算は、何にどう使ったか、実績を示すものです。

市議会は決算特別委員会を設けて、事業に支出された内容に問題がないかチェックします。今定例市議会では、諸事業の中から、特に9事業を抽出し、事業の成果や必要性をはじめ、今後の方向性や課題などを審査し、提言としてまとめ、市長に提出しました。

それぞれの事業についての審査結果をまとめました。

〈審査表の見方〉

事業名

[担当部課名]

●決算額

●事業内容

●Q & A…委員会での主な質疑

●事務事業に対する評価

A	B	C	D	E
きわめて 良好	良好	おおむね 適正	問題が ある	かなり 問題

●提言…要約して掲載しています

市長へ提出した審査内容は、洲本市議会のホームページをご覧ください。



令和2年度
決算審査と平行し
事務事業評価を実施

抽出した9事業

提言をまとめ

収納率向上対策事業

[財務部 収納対策課]

決算額 126万3,000円

事業内容 収納率向上のため、滞納処分と納期限内の自主納付を勧奨する。

Q 長期の滞納者への対応は。

A 徹底した財産調査により支払い能力の確認を行い、差押えを実行する。

Q 令和2年度の徴収率における県下の順位は。

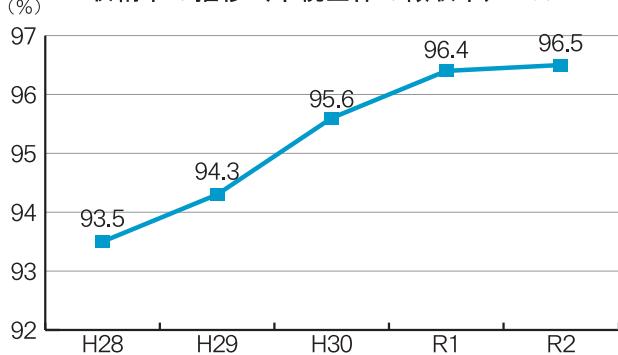
A 現年度分で13位。滞納分で5位。合計では12位である。

評価 **B** (良好)

提言

社会情勢の変化に対する納税者の状況に配慮しつつ、さらに、収納における利便性を高めることで、財源の確保と税負担の公平性の確保に努めてほしい。

収納率の推移（市税全体の徴収率）（単位：%）



企業立地対策事業

[企画情報部 魅力創生課]

決算額 2,396万7,000円

事業内容 立地企業に対して、誘致奨励金・立地促進補助金・オフィス賃料補助金などを交付する。

Q 農業振興地域の指定を除外し、用地を確保することはできないのか。

A 農業の振興もあり難しい問題であると考える。企業誘致の需要などを考慮しながら、関係部局と協議を進めたい。

評価 **C** (おおむね適正)

提言

明確な誘致戦略が必要。また、企業用地を確保するため、民間の未利用地や公共施設の統廃合による用地確保の検討、IT企業やオフィス企業の誘致、制度拡充も検討すること。



子育て応援事業はさらなる拡充を

子育てにやさしいまちづくり事業

[健康福祉部 子ども子育て課]

決算額 350万円

事業内容
子育て応援パスポート、
子育て応援タクシー利用料金助成、
子育てハンドブック、
新生児誕生祝事業

Q 対象者への告知はどのようにしているのか。

A 出生届や対象となる方が転入された際に、当課の窓口での手続きについて案内をしている。また、市ホームページでもお知らせしている。

評価 C (おおむね適正)

提言

子育て応援事業は、さらなる拡充が必要で、子育てしやすい環境整備へ予算措置も含めて事業を展開されたい。少子化対策は、息の長い事業であり、支援内容については子供同士で遊ぶ場としての公園の充実、また時代に合った新たな取り組みの発掘が必要であり、関係する部課との連携により考えられる策を積極的に実施し、切れ目のない支援に努められたい。



ごみ減量化機器導入促進事業

[市民生活部 生活環境課]

決算額 39万4,000円

事業内容
ごみ減量化を図るため、生ごみ処理容器を設置する場合に補助金を交付する。

Q 微生物などの働きを利用したコンポストの実績は。

A 毎年20基ほど導入いただいている。平成20年度以降250基以上に購入費助成を行った。

Q 台所から出る生ごみは減少傾向にあるが、どのような取り組みを行っているのか。

A 洲本市25%ごみ減量化作戦の一貫で、耐水紙使用の水切り袋を配布している。また、ミミズコンポストは、モニターで都志保育園・なのはなこども園で効果を試している。

評価 C (おおむね適正)

提言

啓発の効果が表れていると思われる。ミミズコンポストについては、少しハードルが高いので説明と広報が必要である。堆肥の回収や、台所での簡単なごみ減量化機器を考えてはどうか。

学校トイレ洋式化は 早期実施すべき事業

有害鳥獣防除対策事業

[産業振興部 農政課]

決算額 3,659万円

事業内容

シカ・イノシシによる農作物被害を防ぐため、集落柵、電気柵設置への支援、捕獲への報償や箱わなの製作・貸与、狩猟免許取得者への助成。

Q ①GIS^{*}の活用や②防除対策のスマート化が提案されているが、新たな取り組みを講じた場合の期待度は。

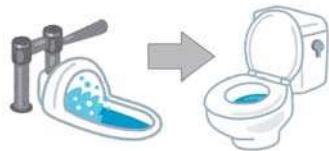
A ①は、被害実態の可視化ができ、これまで分からなかった被害対策の欠点改善に役立ち、被害ゼロに近付ける可能性がある。②は、電柵の漏電箇所をスマホに通知する技術が他県で実証中。本技術が導入できれば電柵の維持管理に必要な見回りや草刈りを必要最小限にできる。

*地理情報システム。様々な地理情報をコンピュータ上で管理して分析することができる。

評価 B (良好)

提言

老朽化する柵や箱わなの更新も継続する必要がある。狩猟免許取得者の確保にも努めるべきである。ICTなどを活用した技術の導入も検討されたい。



学校改修事業(学校トイレ)

[教育委員会 教育総務課]

決算額 令和3年度への繰越事業
(3,421万円)

事業内容

望ましい学習環境を確保するため、小・中学校のトイレの洋式化整備を実施する。

Q 学校トイレの洋式化率を90%以上としているが、現在の状況と今後の方向性は。

A 洋式化率は今のところ約40%で、必要性が高い学校から順次、トイレ改修を進めて行く。

Q 災害時、避難所指定されている学校が市内で18校ある。高齢者などに配慮した、トイレ改修の計画はあるのか。

A 未設置のところについては、必要性が高い学校から順次、設置を進めて行く。

評価 B (良好)

提言

洋式化90%までの道のりはかなり長くなる。市内の全小中学校を対象に計画を立てて、早期に実施すべき事業と考える。

積極的にテナント募集し、賑わいの創出を！



老朽空家対策事業

[都市整備部 都市計画課]

決算額 675万2,000円

事業内容 市民生活に影響を及ぼす空き家について、所有者・相続人調査をし、適正な管理を促す。

Q 市が建物を撤去した場合、撤去費用は所有者などに請求するのか。

A 略式代執行は所有者などがいない場合に行うため、請求しない。行政代執行は所有者などが分かっている場合に行うため請求をするが、実績はない。

評価 **C** (おおむね適正)

提言

市街地の空き家は、危険なケースが多く、また、過疎地域においては田舎暮らしに活用するに相応しい物件になるケースがあるため、今後の対策が必要である。

アルチザンスクエア施設管理事業

[産業振興部 商工観光課]

決算額 1,434万8,000円

事業内容 中心市街地の都市型産業基盤施設として、企業立地を促進する目的で整備している。

Q 入居の募集方法は。

A 淡路開発事業団で実施されており、建物にも「募集中」の張り紙や看板により掲示している。

Q 広さもさまざまであり、家賃も高いのではないか。

A 近隣の民間施設を調査して現状把握に努めている。

評価 **D** (問題がある)

提言

専門家の意見、事業者からのプレゼンテーションを受けるなど、活用策を見出して欲しい。空き店舗の募集に際しては、コンセプトに合った業種業態の誘致が必要。



議案審査Q&A

固定資産税の減免

Q 過疎地域の固定資産税減免の影響が具体的にあらゆる業種は、
A 「財務部」農林水産物など販売業、情報サービス業などには取得価格要件としては500万円以上。製造業、旅館業についても、資本金5000万円以下なら500万円以上で、農林水産物など販売と同じである。資本金1億円以下については、1000万円以上。1億円超の資本金については、2000万円以上という要件がある。

地域再生大作戦

Q どんな内容か。

A 「企画部」県下全域において、少子高齢化の進行に伴い地域の疲弊が進んでおり、結果的に世帯数が

50以下で高齢化率が40%以上の小規模集落が増えている。

県では平成20年度から「地域再生大作戦」と銘打ち、さまざまな対策を講じてきている。今年度は複数の小規模集落を対象に、日常生活を営む上での困りごとの有無や、祭りの在り方、将来的に子どもが帰つて来るのかなどを市が調査している。その結果を「集落対策方針」としてまとめ、県へ報告・提案する「小規模集落元気度調査」を実施する。

福祉年金廃止

Q 金額は年5000円だ

A 「福祉部」県下29市中19市は廃止、もしくは制度がない。

Q 他の制度でカバーできるか。

A 「健康部」障害福祉サービスを始め、希望すればさまざまな制度が受けられるよう整備された。制度設立当初から比べると、本制度意義が薄れ当初の目的は達成された。サービスの充実により補完できていると考える。

件分、現時点で16件の相談を受けており、その方々からの申請があると思われるため。

鳥飼漁港内の埋め立て

Q 公有水面である船揚げ場を、埋め立てして問題はないのか。

A 「振興部」他に船揚げ場は、同じ漁港内の近くにあるので、問題ない。



▲鳥飼漁港

道の駅事業



▲ウェルネスパーク五色 全景

Q 高田屋嘉兵衛公園における「道の駅」整備に向けた今後の方針は。
A 「産業部」今年度から令和5年度までにかけて、地元意見を踏まえた基本計画の完成と、基本及び実施設計を一括して実施する業務を発注する予定。

9月定例市議会の概要

Q 増額補正の理由は。
A 「振興部」令和3年度の当初予算の600万円で12

起業支援事業



コロナ禍での子どもの生活・教育支援を

間 森 和 生（日本共産党）



動画QRコード

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。

A 小学校休業などに対応する助成金制度を国が再開する予定である。この制度は8月1日から取得した休暇が対象で、事業主が特別有給休暇の制度



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 学校行事は教育的意義や児童生徒の心情などを踏まえ、一律に中止せず、感染防止対策を取って実施する方向で検討している。（教育長）

Q 過疎対策事業債の発行規模は。

A 令和元年度は3億980万円、2年度は4億4010万円を発行し、五色地域においてハード事業、ソフト事業に活用した。また、3年度は洲本・五色両地域分として12億9000万円の発行を考え、「洲本市過疎地域持続的発展計画」の事業費として3年度分は47億7000万円、7年までの5カ年分として308億5000万円を見込んでいる。（理事）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 心理的ストレスなどをかかえた児童生徒への対応策は。

A 学級担任や養護教諭などを中心に、や相談の実施や細やかな健康観察の状況を把握し、心のケアに取り組んでいる。（教育長）



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画と従前の過疎計画との特徴的な違いは。

A 基本目標を令和7年国勢調査で、人口3万8540人の確保、社会増減はマイナス673人とし、「新洲本市総合戦略」における戦略人口に基づく数値目標となつている。

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 過疎対策事業債の発行規模は。

Q 橋梁の維持・管理対策の管理対策は。

A 国管理の橋梁は17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 橋梁の維持・管理対策

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



▲目視で行われている橋梁点検

Q 保育施設・放課後児童クラブ、学校教職員の希望者へのワクチン優先接種状況は。

A 2回目の接種を実施しているところであり、の月中旬完了する。（健康福祉部参事）

Q 教職員もの月中旬には2回目の接種を終える。（教育長）

Q コロナ禍で経済格差が拡大している。子どもが感染したら保護者は休まねばならない。休業補償などは。



▲子どもの貴重な体験学習の確保を

Q 洲本市過疎地域持続的発展計画

A 旅館業」を指定した。（企画情報部長）

Q 橋梁の維持・管理対策

A 17橋、県管理は14橋、市管理は54橋である。また、令和3年度は30橋を補修予定で、現在、工事完成は5橋、工事中は6橋、発注準備中は19橋である。（都市整備部長）



避難情報発令は早めに的確に



片岡格（日本共産党）



誰ひとり取り残さないまち
洲本市へ

高島久美子（宙）



防災・減災

Q 8月17日に発令された避難情報「レベル4」は、全員避難・避難遅れゼロにする内容であるが、なぜ、いきなり避難レベルの指

A 「難指示」の発令に至った。（総務部長）

A 神戸気象台との連携をさらに密にしながら、情報の収集を行い、的確なポイントでの避難情報の発令に努める。（総務部長）

Q ハト、カラス、その他の動物に、ないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習市への対応は。

Q だに殺し、傷つけ、または苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生において周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

9 洲本市議会だより Vol.61 2021.11.15

報レベル4避
い状況である
ことから「警
報レベル4避
い状況である
災害が発生す
るおそれがあ
る



A 気象庁の大暴雨警報(土砂災害)【警戒レベル3相当】の発表を受け、避難情報発令の準備をしていたところ、急激な天候悪化に伴い、警報発表からわずかな時間で、土砂

Q 難情報や防災気象情報を迅速かつ容易に取得できる環境整備や、それら情報の内容や取得方法をわかりやすく周知するのは市町村の役割である。（総務部長）

Q は、ひとり暮らし老人入浴サービス事業があり、大変喜ばれているが、現在、年間最大で21枚の入浴券が交付されている。この枚数を増やすと共に、非課税の夫婦のみの世帯にも拡充できないか。

Q 人と動物、また動物を巡る人と人との関係はどうあるべきか、行政として出来ることは。

A 動物を巡る人と人との関係はどうあるべきか、行政として出来ることは。

A 動物の愛護及び管理に関する法律では、「何人も動物をみ

A 議員指摘の内容については、十分に理解している。貴重な意見として、今後、検討させていただいく。

A は、動物との係わりにいて周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

Q だに殺し、傷つけ、または苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生において周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

Q は、動物との係わりにいて周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

Q だに殺し、傷つけ、または苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生において周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

Q は、動物との係わりにいて周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。

Q は、動物との係わりにいて周囲の生活環境を損なわないよう、引き続き啓発用看板や広報紙などを通じて周知啓発に努める。



高島久美子（宙）



誰ひとり取り残さないまち
洲本市へ

9 洲本市議会だより Vol.61 2021.11.15

コロナ禍でも適切な支援が届く環境を要望



た連携体制を検討する。

コロナ禍での対

Q に感染するなど、

の周知や仕業しやすい環境づくりは。

家庭での在宅育児の経済的支援は。

A circular portrait of a man with dark hair, wearing a white button-down shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

子どもたちや保護者 職員への支援充実を

子どもたちや保護者 職員への支援充実を

A 本市では小学校を2グループに分け、それぞれ2年に1回合同点検を実施しているが、本年は国からの要請を受け、市内小学校で一斉点検を行つた。

Q 通学路の安全管理に協力する見守り活動などを行う地域団体との情報共有体制や、意見交換などの機会確保に向けた取り組みは。

（教育長）

A cartoon character with large, expressive brown eyes, a small smile, and a yellow hooded garment. The character is holding a single orange flower with a yellow center.

▲洲本市の子育てイメージ キャラクター（なのは）

Q 先般発生した下校中の事故を踏まえ、国からの通学路合 同点検実施要請への本 市の対応は。

A 本市では小学校 を2グループに分け、それぞれ年に1回合同点検を実施しているが、本年は国から の要請を受け、市内小学校で一斉点検を行つた。

（教育長）
通学路の安全管理に協力する見守

A
話訪問や家庭訪問で対応しており、子どもの状況が確認できな
い家庭においては関係機関との連携により子
どもの安全確認や保護者支援を行っていく。

以後、保護者や子ども
の表情を確認しながら、
相談対応ができるオンライン
相談についても検討する。(健康福祉部長)

Q 成長の節目に実施する乳幼児健診で、未受診家庭への対応は。

談を実施している。対面による相談支援に不安を抱える保護者からは、「LINEによる相

子育て家庭への
支援体制

A 対面以外に電話

--	--	--

Q 保育士の待遇改善は。
A 私立幼稚園では、国の制度で待遇改善がなされている。公立においても、非正規の保育士の報酬体系の見直しや待遇改善を行っている。今後も諸手当の支給やよりよい勤務環境を整えるなど検討していきたい。

なる。信頼できる親との絶対的な依存関係を確保することは、子どもの健やかな成長にとって不可欠。他自治体の事例を参考に今後研究していくきたい。

(健康福祉部長)

らなくなつた場合の保護者への支援として、休業しやすい環境づくりや経済支援が大切。小学校休業等対応助成金、両立支援等助成金

護者の方にあつて
A 知られていない可能性
もある。市のHPやそ
の他適切な手段で情報
提供を行い、制度周知
に努めていく。

A や生きがいとともに、ストレスを感じてしまうこともある。特に低年齢児は、人を愛し、人を信じる心など、人との信頼性の根幹を

地域コミュニティの

行政からみた、町内会はどのように存在か。

A 安全・安心、そして快適で暮らしやすいまちづくりを推進する上で欠かせないパートナーであると考えていた。(企画情報部長)

Q 現在、老人クラブはどうのような課題を抱えているか。

A 近年、会員の高齢化が進んでおり、今後さらなる高齢化の進行で会員数の減少、世話役などの担い手が見つからず、やむを得ず廃止。



**弱体化する、
地域コミュニティの強化を**

小野章二（「志」）



休止にいたる組織の出現が懸念されるといふである。
(健康福祉部長)

休止にいたる組織の出現が懸念されるといふのである。（健康福祉部長）

れる福祉サービスなど
につなげ、民生委員・
児童委員へ報告、見守

地域コミュニティ 施設の利活用

地域コミュニティ 施設の利活用

新型コロナウイルス 感染症対策

健康増進事業

Q 今年度から乳がん検診がマンモグラフィ検査のみになつた理由は。

Q 市民生活関連事
業費（舗装修繕、
事業者の育成に配慮し
た事業者の選定に努力
していく。
(理事)

新型コロナウイルス 感染症対策

新型コロナウイルス 感染症対策

健康増進事業

A 札を実施し、市内透明で公正な入

健康増進事業

健康増進事業

A 透明で公正な入

第2弾のコロナ対策 支援ハンドブック発行を

近藤 昭文（こんどう あきふみ）



個人の取扱制度は個別
の情報発信が十分に行わ
れており、今後の状況
を見極めながら検討す
る。
(企画情報部長)

個人の取扱制度は個別
の情報発信が十分に行わ
れており、今後の状況
を見極めながら検討す
る。
(企画情報部長)

公共事業と 建設事業者

A paved road curves through a rural landscape. On the left, there's a traditional building with a tiled roof. A white car is parked on the side of the road. The road is bordered by a metal guardrail on the right, and there are trees and hills in the background under a clear sky.



▲市道厚浜学校線（中川原）の完了した
道路改良工事



「コロナを越えて。」 「淡路島洲本」の魅力発信。

中野陸子（志子）



Q 移住・定住の傾向と本市の対応は。

A 今年4月から8ヶ月で移住相談件数は、450件と昨年の同期から倍増。移住希望者は東京が27%と一番多く、兵庫・大阪、京都と続く。移住相談は、魅力創生課・東京事務所・あわじFANセンターなどと協力して業務に当たっている。移住支援は、今年度からスタートアップ支援事業としてリニューアル。すでに移住世帯で26件、新婚世帯で16件へ支援している。ふるさと納税がきっかけで旅行先として検討したい人は多いが、寄附者のうち将来的に移住に興味があるのは14%程度。



▲『来年はたくさん花火見れたらいいね』
サプライズ花火@大浜海岸

Q 淡路島まつりならぬ」と納税を軸に地道な取り組みやPRを続けることで、本市を訪れていただき、将来の移住につながっていくのではないかと思っている。（企画情報部長）

Q 淡路島まつりなどが今年度も中止トへの支援は。

A 実行委員会では、gramを活用した「淡路島ダンスコンテスト」、「うみやら映画祭」への

Q 本市の小中学校での学級閉鎖、学年閉鎖、休校などの判断基準は。

A 本市の小中学校での学級閉鎖、学年閉鎖、休校などの判断基準は、1人以上の感染者が確認された段階で、1日から3日程度の学級閉鎖を行う。学級内で感染が広がっている可能性が考えられる場合には、5日から7日間程度の延長をする。また、複数学級

Q 本市での内水氾濫の危険性は。

A 総合治水対策を進捗化させ、公助によるハード整備と合わせて自助・共助の取り組みの活性化を図り、地のPRにも繋げたい。また、市内で踊り動画を撮影してもらったりにより、本市の景勝地のPRにも繋げたい。

Q 道の駅「高田屋嘉兵衛公園（仮称）」

A クラウドファンディング型のふるさと納税制度の目的は、度を通じて道の駅のPRを行うことで、

Q 洪水に関するハザードマップの更新や改訂は。

A 修正が少ない場合は、電子版にて合は、電子版にて

Q クラウドファンディングの用途は。

A 今後必要となる設計費用や工事費用だけではなく、将来的な運営費用なども想定している。（企画情報部）



▲災害を体験した住民たちの証言をもとに作成した行動事例集



迅速な避難行動を

氏田年行（田中年行）



適宜修正を行い、常に最新の情報を発信する。

（総務部長）

適宜修正を行い、常に最新の情報を発信する。

Q 道の駅「高田屋嘉兵衛公園（仮称）」

Q クラウドファンディング型のふるさと納税制度の目的は、度を通じて道の駅のPRを行うことで、

Q 洪水に関するハザードマップの更新や改訂は。

A 修正が少ない場合は、電子版にて合は、電子版にて

Q クラウドファンディングの用途は。

A 今後必要となる設計費用や工事費用だけではなく、将来的な運営費用なども想定している。（企画情報部）

地域にあつた実効性ある 個別計画を



狩野揮史（公明党）



ふるさと納税のさらなる
拡大で市民に還元を



先田正一（公明党）



避難行動要支援者の 個別計画

A いての責任は、悪意または重大な過失がない限り、一般人である避難支援者の責任は現状は。

Q 本市において個別支援計画策定の

A 地域のハザード

Q 状況、本人の身体の状況、情報取得や判断への支援が必要な程度、社会的孤立の現状などの要素を踏まえ、災害時の被災リスクを検討し、優先順位を設け、「質」を重視した個別支援計画策定を進めていく方針である。

（健康福祉部長）



▲災害避難行動でヘルプマークを見かけたら、みんなで少しづつの気配りをお願いします。

A 与えた損害につ

Q 福祉避難所への直接避難ができるのか。

A 災害時の避難行

Q 動要支援者に対する円滑な仕組みづくりは、福祉施設に対しても、あつた場合には、その状況や程度にもよるが、当事者間の民事上の問題が生じる可能性もある。このことから、市としても独自の対応策を講じる必要があると考えている。（総務部長）

（総務部長）

コロナワクチン接種

Q 妊婦などの接種は。

A 対象者に直接電話話し、優先接種を希望する妊婦及び配偶者に対し、前倒しした日程で予約を受けた。

Q 若年層や子ども

A 約率が低いように感じている。16歳未満の集団接種は保護者同伴が必要、個別接種などで保護者同伴を求めない場合は、緊急連絡先が必要である。

Q 開発支援は。

A 支援の拡充は、来年度以降も補助制度の期限延長、内容の見直しなども含め積極的に

国の動向に注視する。
(健康福祉部参事)

A 現在、大阪・京都など関西地方での展開を検討。移住相談・軽飲食・物販の3本柱で考えている。

Q 重点「道の駅」整備にむけ準備が進む高田屋嘉兵衛公園

A 現在、国からの通知はないが、

Q 3回目のワクチ

（健康福祉部参事）

Q ショップは。

（企画情報部長）



▲重点「道の駅」整備にむけ準備が進む高田屋嘉兵衛公園

意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書を関係機関へ提出します。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

決算指摘事項

- 事業実施に際しては、費用対効果等を勘案するとともに、事務事業を精査し、自主財源を確保することに努め、広く市民福祉の向上に努めること。
- 好調なふるさと納税については、担当職員の努力の賜物であり、議会として大いに評価したい。この貴重な財源をどの事業に活用するのか、市民にとつて理解を得ることができるよう、メリハリをつけて事業に充当すること。あわせて、返礼品の開発にも、引き続き注力すること。
- 税等の収入率が確実に向上升していることは評価できるが、使用料・手数料の滞納額の徴収については、新型コロナウイルス等の実情を考慮して、更なる努力を講じること。

討論

認定第2・7・8号

反対 近藤昭文（日本共産党）

国保や介護、後期高齢者医療の保険料は見直しのたびに上がっている。本市として、①国保会計などへの国庫負担割合を復元・増額し、財源を確保することを国に対して強く求めること。②保険税軽減へ一般会計や国民健康保険基金などからの繰り入れを要望する。

賛成 笹田 守（志）

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、健康づくりと介護予防を積極的に推進している。令和2年度には、「第9回健康寿命をのばそう！アワード」にて厚生労働省老健局長優良賞を受賞し、ト事業や民間企業と連携したフレイル対策事業を展開、先進的な取り組みは非常に高く評価されている。

9月定例市議会 議決結果一覧

賛否のわかった議案

※議長（小松茂）は表決には加わらないが、賛否同数時のみ表決に加わる。
○は賛成、×は反対、△は欠席。

件名		議員名	議決結果	近藤昭文	間森和生	中野睦子	小野章二	高島久美子	清水茂	木下義寿	柳川真一	片岡格	狩野揮史	氏田年行	笹田守	木戸隆一郎	先田正一	地村耕一良	福本巧	上田昌孝
認定第2号	令和2年度	国民健康保険特別会計決算	認定	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第7号		介護保険特別会計決算	認定	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第8号		後期高齢者医療特別会計決算	認定	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

全員賛成の議案等

件名	
議案第57号	一般会計補正予算（第4号）
議案第58号	介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第59号	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例制定
議案第60号	福祉年金条例を廃止する条例制定
議案第61号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案第62号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案第63号	鳥飼漁港内公有水面埋立免許に関する意見の提出
議案第64号	汚泥再生処理センター整備工事請負契約締結
議案第65号	大野千草線道路改良工事請負契約締結
議案第66号	過疎地域持続的発展計画の策定
議案第67号	人権擁護委員候補者の推薦

件名	
認定第1号	一般会計決算
認定第3号	由良財産区特別会計決算
認定第4号	納、鮎屋財産区特別会計決算
認定第5号	堺財産区特別会計決算
認定第6号	CATV事業特別会計決算
認定第9号	介護サービス事業会計決算
認定第10号	駐車場事業会計決算
認定第11号	下水道事業会計決算
認定第12号	土地取得造成事業会計決算
意見書案第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

※表記は、正式な名称ではありません。



『オンライン議会報告会』を配信中

今回は納連合町内会との共催

オンライン ONLINEで 議会報告会

令和3年度
洲本市議会

洲本市議会では、議会で行われた議論や、採決にいたる経過などを市民の皆さんに知っていただくため、各連合町内会と共に催で「議会報告会」を開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、直接地域に出向いての報告会が困難なことから、オンライン（YouTube）による動画配信を実施しております。



▲共催いただいた納連合町内会役員の皆さん



コロナ禍のもと、一同に集まって議会報告会を開催することができませんでした。
共催することになった納連合町内会から市民の皆さんに、オンラインでの視聴をお願いいたします。

ご視聴された皆さま
からのアンケートを
募集しています。
ご協力ください。



淡路島くにうみ協会は、さらなる淡路地域の発展に向けて、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱に沿つて事業を進められ、取り組み内容を紹介されました。また、9月18日から開催の「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」（秋期）では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底、安全・安心の取り組みを行うことを強調されました。

12月定例市議会の予定

- 11月19日(金) 常任委員長会
- 11月22日(月) 議会運営委員会
議会報編集特別委員会
- 11月26日(金) 本会議（第1日）**
- 12月6日(月) 本会議（第2日）**
- 12月7日(火) 本会議（第3日）**
- 12月8日(水) 本会議（第4日）**
- 12月9日(木) 常任委員会
- 12月10日(金) 常任委員会
- 12月13日(月) 常任委員会
- 12月14日(火) 予備日
- 12月15日(水) 本会議（第5日）**

人と自然の豊かな関係を
きずく公園島を目指して

一般財団法人 淡路島くにうみ協会
角本雅宣 副理事長

◆8月24日

淡路島くにうみ協会は、さら

なる淡路地域の発展に向けて、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱に沿つて事業を進められ、取り組み内容を紹介されました。また、9月18日から開催の「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」（秋期）では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底、安全・安心の取り組みを行うことを強調されました。

議員研修

国土交通省近畿地方整備局
兵庫国道事務所洲本維持出張所
犬塚宏幸 所長

◆10月25日

工事が進んでいる国道バイパス工事の道路延長6.0kmのうち、残り宇山→炬口区間2.4kmについて説明されました。交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替路の確保が事業目的で、工事から出た良質な残土は、ほ

場整備などに利用されているよう



国道28号洲本バイパス事業



総務常任委員会 意見交換会

実施日：令和3年10月19日(火)
団体名：京都大学エスノ3ジョウ

地域おこしなどに興味があるので、地域の方々と課題を抽出し、その課題解決に取り組んでいきたい。



地域活性の様々な取り組みを通じて構築できた地域の方々との関係性を継続していきたい。

テーマ 域学連携事業について

エスノ3ジョウは、京都大学学生が地域活性化を目指し設立した団体です。学生が地域に入り、地域団体やNPOなどと、地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組んでいます。地域の活性化や人材育成に貢献する活動であり、大学との共同でまちづくりを目指す取り組みです。

コロナ禍でZOOMなどのオンラインで意見交換活動を行ってきたが、新しい人材の場合は対面での交流が必要不可欠となる。



域学連携では持続性が必要であり、洲本市の場合は受け入れ態勢が整っているので今後も継続していきたい。

教育民生常任委員会 意見交換会

実施日：令和3年10月15日(金)
団体名：一般社団法人洲本市医師会



児玉副会長

本市の集団接種については、大きな施設が文化体育館しかなく、それがかえってよかったですのではないかと思います。



高橋会長

集団接種に関しては市職員、医師会の協力で上手くいったと思います。



木村副会長

テーマ 新型コロナウイルスについて

洲本市医師会は、昭和22年11月15日に設立され、70年以上にわたり、本市の医療・福祉・介護の発展に寄与されております。

どんな形でもいいので、市の担当者と意見交換ができる場を作ってほしい。

表紙写真 募集!

市内で撮影された風景、イベント等の写真で表紙を飾りませんか？

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

洲本市議会 検索

皆さまの意見をお寄せください。
(近藤)

編集後記

◆今年の夏は8月24日まで長雨が続き、稲の生育、米の収穫に影響が出ていると聞きます。コロナ禍で米価下落など農業を営む皆さまも「苦労されています。◆今回議会として初めての取り組みですが、2年度に執行された9件の事務事業を抽出し、市民生活についてどうか、内容に問題がないかを審査しました。それを提言としてまとめ、市長に提出した内容を掲載しています。◆今後も「みんなのぎかい」は市民と市議会を結ぶ大切な役割を果たしてまいりますので、皆さまの意見をお寄せください。